

# 令和8年度 予算のあらまし



# 「元気・笑顔・希望のまちづくり」 をめざして

刈谷市長

稲垣 武

Inagaki Takeshi

本年は、60年ぶりとなる丙午の年であります。丙午については、干支の中で最もエネルギーが生まれる年とも言われており、本市の更なる成長へ向け、市政の舵取りをしてまいりたいと決意を新たにしております。

本年9月には、日本では32年ぶり3度目となるアジア競技大会、また、国内では初開催となるアジアパラ競技大会が開催されます。刈谷市実行委員会や地域の皆さまと、そしてアジア各国から観戦に訪れる多くの方々と、この大会を盛り上げてまいりたいと考えております。

令和8年度予算は、防災、子育て・教育、高齢福祉などの各種施策において、市民ニーズや社会情勢の変化に対応するとともに、計画的に進めている道路や公園整備等を着実に実施し、引き続き、将来を見据えたまちづくりを積極的に推進していく予算としております。また、65歳以上の高齢者を対象に1万円分のギフトカードをお送りするほか、4月から6か月間の水道基本料金上昇分の減免や、給食の食材費上昇分の公費負担、小中学校の教材費等に対する支援を行い、引き続き、物価高対策にも取り組んでまいります。

本年度も、市民の皆さまが“元気”に、“笑顔”で、未来へ“希望”が持てるよう、「人が輝く 安心快適な産業文化都市」そして、「日本一安心安全なまち刈谷+にぎわい」の実現をめざしてまいります。

この冊子は、本市の各種施策や財政状況をわかりやすくまとめたものですので、活用していただければ幸いです。



## 目次

予算の規模	1	福祉安心	9
当初予算額・市税の推移（一般会計）	1	マネジメント	11
一般会計の状況	2	基金の状況	12
都市基盤	4	市債の状況	12
教育文化	6	市民1人当たりの予算額（用途別）	13
産業環境	8	主な財政指標の推移	13

# 予算の規模

一般会計の令和8年度当初予算額は746億6,300万円で、前年度当初予算額と比較して0.6%の減となり、前年度に次いで過去2番目の規模となります。

土地区画整理事業、国民健康保険などの特別会計の合計は262億7,290万7千円で、前年度と比較して3.8%の増、水道事業及び下水道事業の企業会計の合計は119億2,697万2千円で、前年度と比較して11.3%の増です。

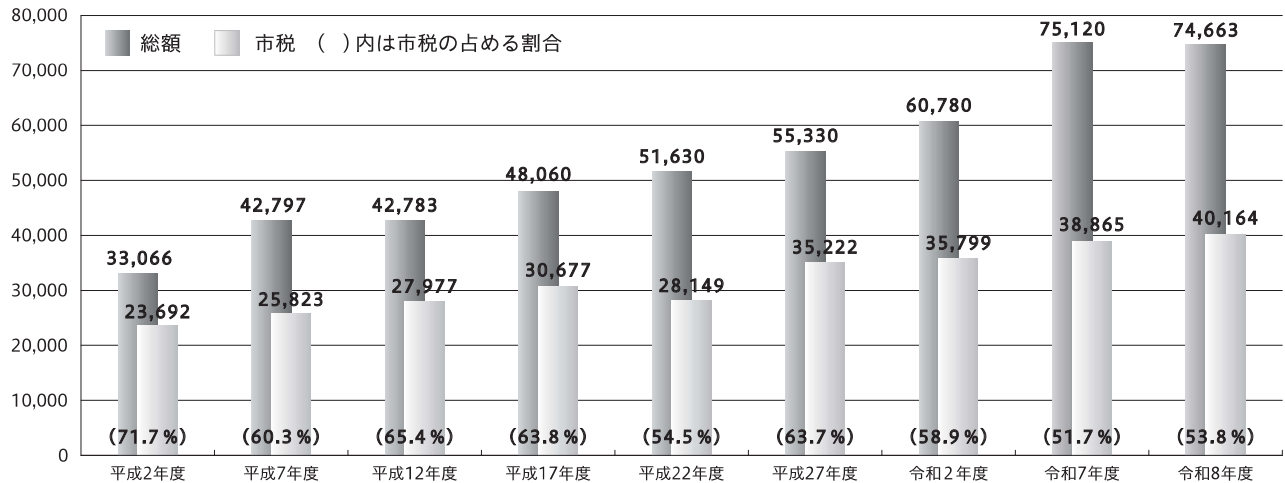
一般会計、特別会計及び企業会計の総合計は1,128億6,287万9千円となり、前年度と比較して1.6%の増となります。

(単位：千円、%)

会計名	令和8年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	前年度比	
			差引	伸率
一般会計	74,663,000	75,120,000	△457,000	△0.6
特別会計	26,272,907	25,301,835	971,072	3.8
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	608,887	621,327	△12,440	△2.0
刈谷野田北部土地区画整理事業会計	106,202	66,835	39,367	58.9
国民健康保険会計	11,813,248	11,656,692	156,556	1.3
後期高齢者医療会計	2,981,897	2,603,113	378,784	14.6
介護保険会計	10,762,673	10,353,868	408,805	3.9
企業会計	11,926,972	10,715,892	1,211,080	11.3
水道事業会計	4,576,638	4,506,805	69,833	1.5
下水道事業会計	7,350,334	6,209,087	1,141,247	18.4
合計	112,862,879	111,137,727	1,725,152	1.6

## 当初予算額・市税の推移（一般会計）

(百万円)



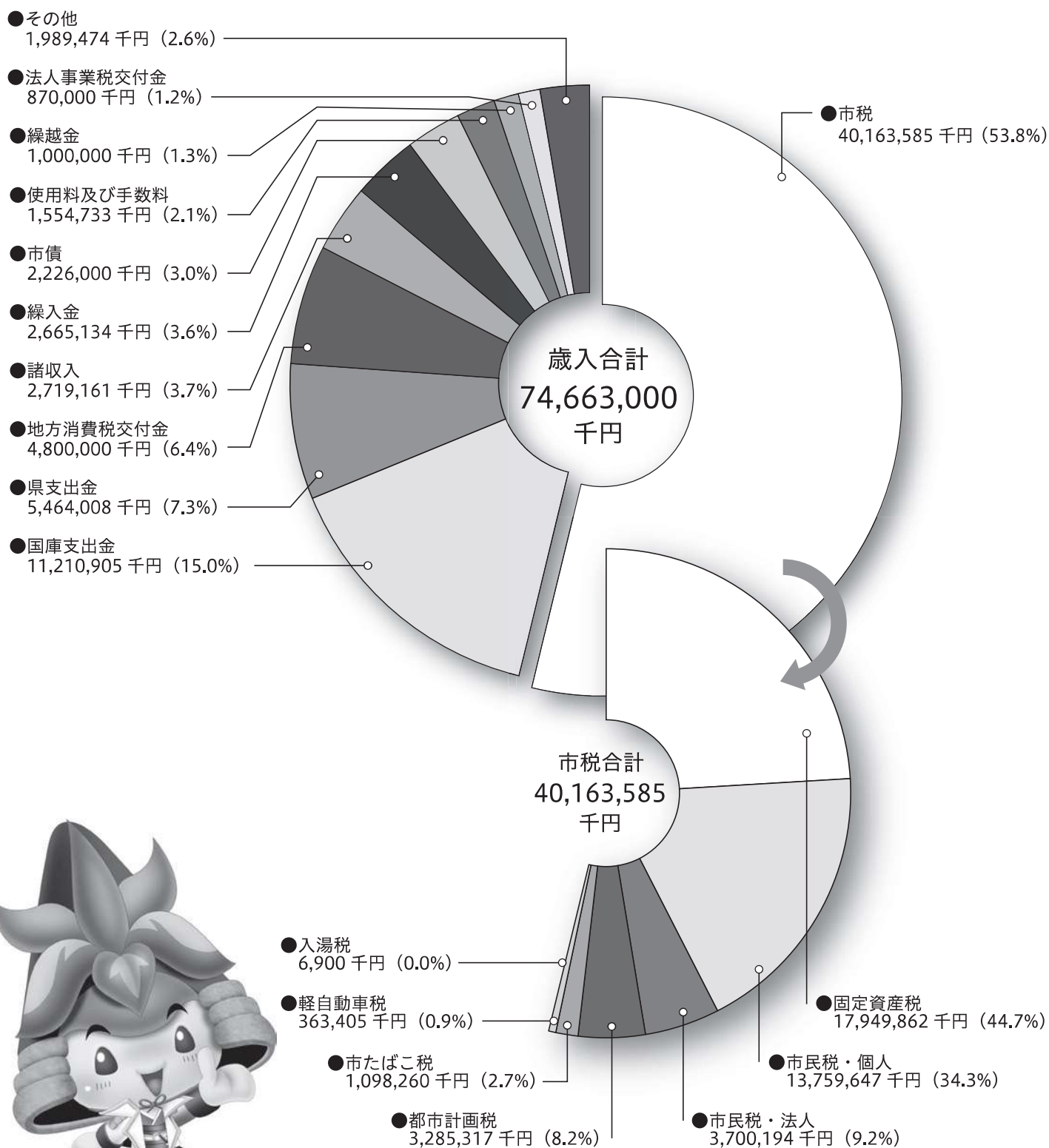
	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	令和2年度	令和7年度	令和8年度
人口 (4月1日現在)	118,267	124,625	131,140	139,994	145,245	148,419	152,823	152,844	152,606
世帯数 (4月1日現在)	40,922	44,761	48,569	54,659	60,140	62,409	67,179	70,038	70,601

※平成2年度以降の5年毎の額と令和8年度の額を表記しています。

# 一般会計の状況

## 歳入

歳入の根幹である市税は、401億6,358万5千円で前年度当初予算額と比較して3.3%の増を見込んでいます。歳入全体に占める割合は、53.8%です。基金等からの繰入金26億6,513万4千円は、財政調整基金や都市交通施設整備基金、公共施設維持保全基金などを活用しています。市債22億2,600万円は、児童発達支援センター移転整備事業などの財源とします。

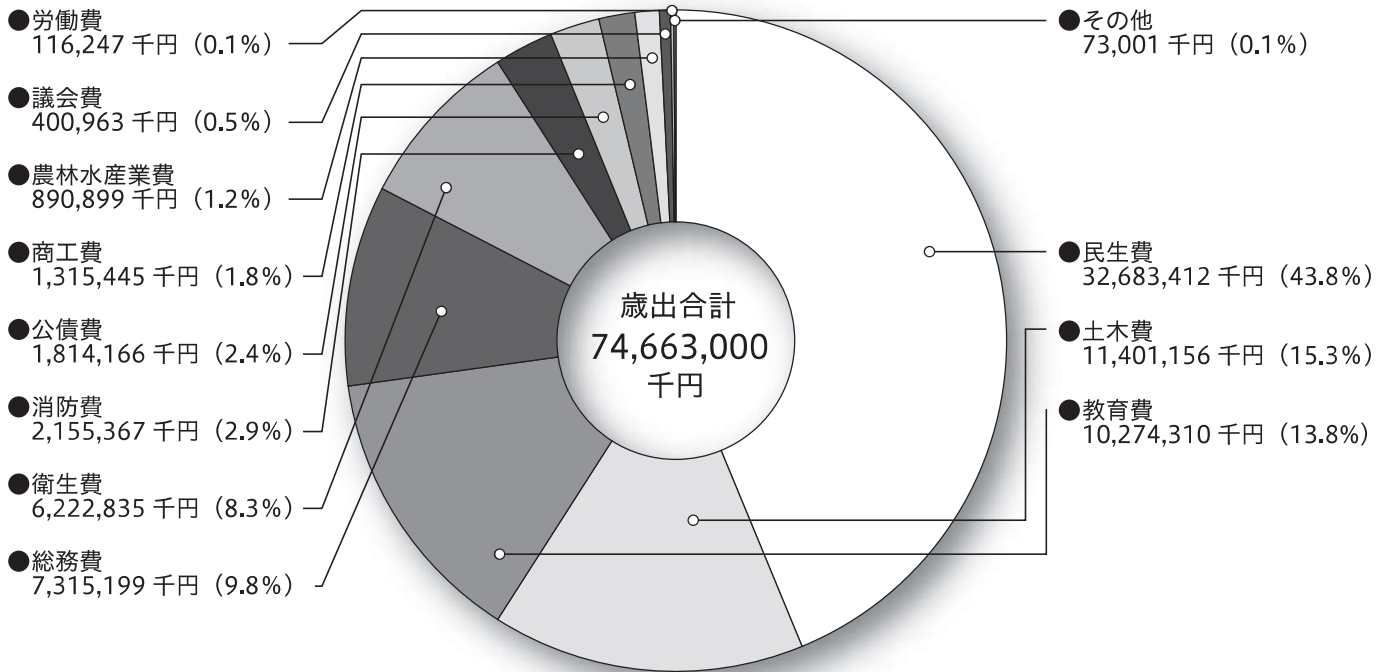


# 歳出

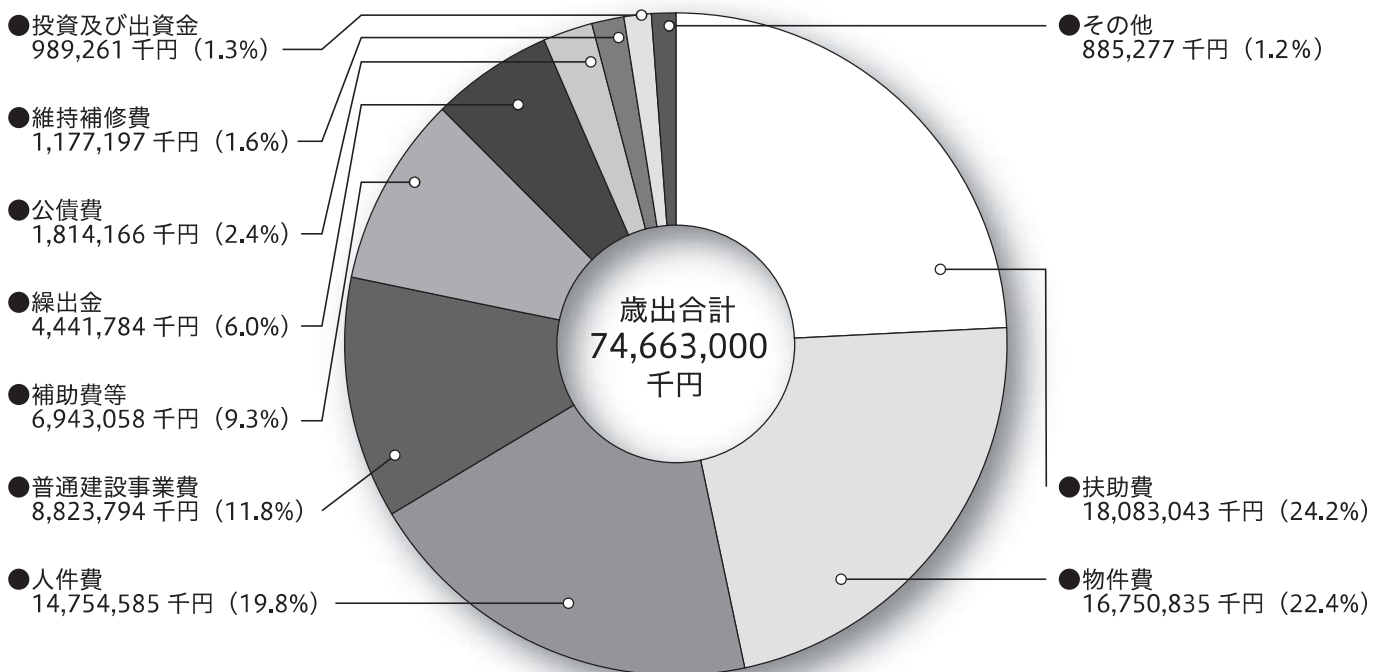
歳出の構成比で最も大きな割合を占めているのは、43.8%の民生費 326 億 8,341 万 2 千円です。その主なものは、児童手当支給事業や私立保育所運営支援事業などです。次に、15.3%の土木費 114 億 115 万 6 千円です。そして、13.8%の教育費 102 億 7,431 万円と続きます。

なお、歳出に占める普通建設事業費などの投資的経費の割合は、11.9%です。

## 目的別内訳



## 性質別内訳



### 市道01-36号線他道路新設改良事業

286,279 千円

安全で快適な歩行空間を創出するため、道路沿線企業との連携による道路拡幅及び電線類地中化を行います。

- 事業箇所 豊田町ほか
- 道路新設改良工事 253 m

### 市道01-40号線他道路新設改良事業

297,116 千円

慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制するため、バイパス機能を持った幹線道路を整備します。

- 継続費 令和7～8年度  
総額 178,000 千円
- 令和8～9年度  
総額 250,000 千円
- 事業箇所 三田町ほか
- 橋りょう工事（下部工）



橋りょう（イメージ）

### 都市計画道路3・5・561高須線 道路新設改良事業

183,926 千円

安全で快適な歩行空間を創出するため、道路拡幅及び電線類地中化を行います。

- 事業箇所 住吉町ほか
- 住吉橋架替
  - (1) 仮橋築造
  - (2) 仮設道路築造

### 都市計画道路3・5・573中町線他 道路新設改良事業

159,004 千円

刈谷市駅周辺におけるにぎわいのある安全で快適なまちづくりに向け、民間再開発と合わせ駅前広場の改修、道路改良及び電線類地中化を行います。

- 事業箇所 広小路ほか
- 用地取得
- 道路及び電線類地中化詳細設計

### ウイングデッキ整備事業

797,367 千円

刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊とにぎわいのあるまちづくり」に向けて、安全で快適な歩行空間を形成するため、刈谷駅南北連絡通路を延伸するデッキを整備します。

- 継続費 令和6～8年度  
総額 1,547,348 千円
- 事業箇所 桜町
- デッキ整備工事 145m

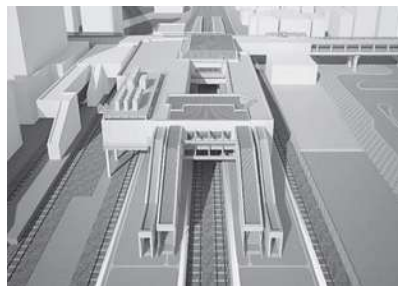


ウイングデッキ（イメージ）

### JR刈谷駅総合改善事業

464,699 千円

JR刈谷駅の安全性確保及び利便性向上を図るため、ホーム拡張、ホームドア設置、コンコース拡張及び改札増設などの駅の改良を行います。



JR刈谷駅（イメージ）

### 市営住宅長寿命化整備事業

289,622 千円

市営住宅の住環境を良好にするとともに、安全性向上及び長寿命化を図るため、住宅の建替えを行います。

- 継続費 令和8～9年度  
総額 1,037,060 千円
- 事業箇所 西境町
- 既存住宅解体工事（1期）
- 新住宅建設工事（1期）
- 構造規模（1期）
  - (1) 鉄筋コンクリート造3階建て
  - (2) 延床面積 2,282㎡
  - (3) 全43戸

新  
は  
新  
規  
事  
業

拡  
は  
充  
充  
事  
業

快適な都市空間と市内外の円滑な移動環境の整備を進めるとともに、災害などのリスクに強い基盤整備を行うことにより、生活の質を維持・向上させることをめざし、都市と自然が共存した魅力ある住みよいまちづくりを進めます。

## 亀城公園整備事業

337,117 千円

公園の魅力向上とにぎわいの創出を図るため、刈谷城の石垣隅櫓などを整備します。

- 継続費 令和8～12年度  
総額 4,413,800 千円
- 事業箇所 城町
- 刈谷城石垣隅櫓等整備工事  
石垣、辰巳櫓、多門櫓の一部



完成イメージ

## たまち公園等整備事業

280,915 千円

公園機能の増進を図るため、しげはら園の移転及び刈谷豊田総合病院の拡張にあわせ、神田公園の機能を見直すとともに、住吉公園を移転し、たまち公園を整備します。

- 継続費 令和7～8年度  
総額 750,000 千円
- 事業箇所 田町
- たまち公園整備工事 約 1.2ha

## 井田公園整備事業

10,406 千円

子どもの遊び場、地域住民の健康増進及び憩い・交流の場を創出するため、公園を整備します。

- 事業箇所 井ヶ谷町
- 基本設計

## 都市拠点活用推進事業

38,920 千円

刈谷駅から刈谷市駅周辺の魅力や回遊性の向上、にぎわいの創出を図るため、公共空間を活用し、エリア毎の特色を生かした取組を官民が連携して行います。

- 刈谷市中心市街地まちづくり基本計画の改定
- 刈谷駅周辺のイルミネーション  
実施期間 10月下旬～1月下旬（予定）
- 刈谷駅周辺エリアプラットフォームの運営支援
- まちづくり会議の運営支援

## コミュニティバス運行管理事業

556,801 千円

令和8年2月より、運行本数の増便やバス停の増設、待合環境を充実し、「市民の日常の暮らしを支えるコミュニティバス」へと生まれ変わった「かりまる」を運行します。

### ■運賃

支払い方法	1乗車/人	1日乗車券・1日上限額
現金	200円	400円
TicketQR（アプリ）	180円	360円
クレジットカードタッチ	180円	360円
交通系IC	200円	—

※高齢者、免許返納者、障害者、子ども、妊婦及び未就学児の監護者などは、条件により無料



## 優良建築物等整備事業

912,700 千円

魅力的な都市空間の創出をめざし、低未利用地の活用やまちなか居住の誘導などを図るため、複合施設を整備する民間事業者に対して支援を行います。

### ■刈谷桜町地区

- (1) 事業費 410,200 千円
- (2) 地区面積 約 0.3ha
- (3) 延床面積 約 13,800㎡（20階建て）
- (4) 主な用途 商業施設、住宅施設、駐車場

### ■刈谷広小路A地区

- (1) 事業費 502,500 千円
- (2) 地区面積 約 0.4ha
- (3) 延床面積 約 15,800㎡（17階建て）
- (4) 主な用途 商業施設、住宅施設、駐車場



刈谷桜町地区（イメージ）

～生涯にわたって学び地域への愛着を育むまちづくり～

**歴史博物館企画展開催事業**

33,937 千円

歴史や文化財にふれる機会を提供するため、刈谷やその周辺の地域の歴史を紹介するほか、さまざまな歴史資料を展示する企画展を開催します。

■富嶽百景展開催事業

- (1) 事業費 12,748 千円
- (2) 会期 4月25日～6月7日

■刈谷のスポーツ史展開催事業

- (1) 事業費 6,615 千円
- (2) 会期 7月4日～8月30日

■河海を往く展開催事業

- (1) 事業費 14,574 千円
- (2) 会期 10月3日～11月15日



江戸より長崎・五島まで海路図（部分）  
（刈谷市歴史博物館蔵）

**美術館企画展開催事業**

99,883 千円

質の高い美術品や展示物にふれる機会を提供するため、著名な美術家やイラストレーターの企画展を開催します。

■柳原良平展開催事業

- (1) 事業費 32,468 千円
- (2) 会期 4月18日～6月14日

■せなけいこ展開催事業

- (1) 事業費 39,309 千円
- (2) 会期 9月12日～11月8日

■降矢なな絵本原画展開催事業

- (1) 事業費 28,106 千円
- (2) 会期 1月30日～3月21日



『ねないこだれだ』原画  
1969年 せなけいこ



『ともだちや』原画  
1998年 降矢なな

**新 加藤与五郎展示室展示替え事業**

1,300 千円

科学者であり教育者でもある加藤与五郎博士の思いが様々な人に受け継がれていることを広く知ってもらうとともに、科学に親しみを持ってもらうため、展示物の入れ替えなどを行います。

■事業箇所 南部生涯学習センター 1階

■実施内容

- (1) 展示パネルなどの新規作成
- (2) 展示物の一部入れ替え

**新 美術館整備事業**

5,500 千円

文化芸術を発信する拠点として、機能や魅力の向上を図るとともに、地域に親しまれ、多くの人々が集い、交流が生まれる場を提供するため、美術館を整備します。

■整備設計に係るプロポーザルの実施

**拡 埋蔵文化財調査整理事業**

249,394 千円（拡充分 232,000 千円）

埋蔵文化財の保存・活用のため、埋蔵文化財包蔵地である刈谷城跡で発掘・確認調査を行い、出土した遺物などの整理・記録保存を行います。

■事業箇所 城町

■調査面積 約 2,700㎡（予定）

**夢と学びの科学体験館  
特別企画展開催事業**

22,500 千円

子どもたちに広く科学の楽しさに触れる機会を創出し、次代を担う人材の育成に寄与するため、春、夏、冬の学校などの長期休業期間を中心に、夢と学びの科学体験館において企画展を開催します。

■体験型コンテンツの展示

■プラネタリウム番組の放映

学力と豊かな心の育成をめざし、学校、家庭、地域との連携による質の高い教育を進め、生涯にわたって学習やスポーツに取り組める機会を多様な形で提供するとともに、本市の歴史・文化の継承と活用により、地域への誇りと愛着を深め、次代を担う人材を育むまちづくりを進めます。

## 拡 給食調理事業

1,746,536 千円 (拡充分 158,619 千円)

保護者の経済的負担の軽減を図るため、物価高騰による食材費上昇分を市が公費負担することにより、給食の質を維持しながら、保護者負担額の値上げを抑制します。

### ■給食 1 食当たりの負担額

	小学校	中学校	幼稚園※3	保育園※3
保護者	無償※1	280円	220円	220円
市	※2	90円	90円	104円

- ※1 県の給食費負担軽減交付金と市の公費負担により保護者負担は無償
- ※2 給食材料費から給食費負担軽減交付金を差し引いた額を市が公費負担
- ※3 幼稚園及び保育園はおやつ代を含まない。保育園は3歳以上児分

## 学校教材費等給付金支給事業

86,517 千円

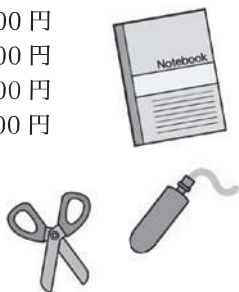
物価高騰の影響を受けている子育て世帯の経済的負担軽減のため、教材費などに対して支援を行います。

■対象 市内の市立小中学校の児童生徒、市内在住で刈谷特別支援学校及び市外特別支援学校に通学する小学部、中学部の児童生徒

### ■児童生徒 1 人当たりの支給額 (年額)

- (1) 小学生 1 年生 6,000 円  
2～6 年生 4,000 円
- (2) 中学生 1 年生 15,000 円  
2～3 年生 10,000 円

■支給時期 6 月 (予定)



## 拡 いじめ及び不登校児童生徒指導事業

86,712 千円 (拡充分 3,101 千円)

児童が悩みなどを気軽に相談できる環境の充実を図り、ストレスを和らげるとともに、健やかな学校生活を支援するため、小学校に配置されている心の教室相談員の相談時間を各校において年間 181 時間拡充します。

## 雁が音中学校大規模改造事業

104,357 千円

施設の保全及び良好な教育環境の維持を図るため、校舎の機能を回復させるとともに、教育環境の変化に適合させるための大規模な改修を行います。

■北舎の内装及び建具などの改修工事

## (仮称) ぶんれい交流館整備事業

241,694 千円

市民の交流と子どもの居場所づくりのため、城町図書館跡地に、歴史が感じられ、様々な世代が集うことができる施設を整備します。

■継続費 令和 8～9 年度

総額 611,785 千円

■建設工事

■構造規模

- (1) 鉄骨造 2 階建て
- (2) 延床面積 965㎡



完成イメージ

## 新 刈谷球場改修事業

130,000 千円

施設の安全性及び利便性の向上を図るため、防球ネットの増設工事を行います。

■レフト側防球ネット整備工事

## 新 港町グラウンド改修事業

22,200 千円

施設の利便性向上を図るとともに、利用可能時間を拡充するため、グラウンドの改修整備を行います。

■人工芝化改修設計

■ナイター照明塔整備設計

## アジア・アジアパラ競技大会開催事業

58,356 千円

アジア・アジアパラ競技大会の機運を醸成し、大会を盛り上げるため、関連事業の実施や、スポーツ、地域、教育、福祉、国際交流、観光、商業など、様々な分野の団体と連携し、各種取組を行います。

■第 20 回アジア競技大会 9 月 19 日～10 月 4 日

■第 5 回アジアパラ競技大会 10 月 18 日～10 月 24 日

■聖火リレー及び関連イベントの実施

■文化プログラム及びフレンドシップ事業の実施

■アジア・アジアパラ競技大会刈谷市実行委員会の運営



## ～人と技術でにぎわいを創り未来につながるまちづくり～

人と自然が調和し、環境への負荷が少ない持続可能な社会の形成に配慮するとともに、ものづくりによって培ってきた高い技術と能力の蓄積を有効にいかしつつ、農業、商業、工業のバランスが取れた産業の振興を図り、働き続けることのできるにぎわいのある明るいまちづくりを進めます。

### 新 ペロブスカイト太陽電池実証実験事業

16,500 千円

次世代型太陽光パネルであるペロブスカイト太陽電池をウイングアリーナ刈谷に設置し、カーボンニュートラルの実現に向けた有効性を検証します。



ペロブスカイト太陽電池（サンプル）

### 新 環境保全型農業推進事業

5,365 千円

農業の持続的な発展に寄与するため、農業者が取り組む地球温暖化防止や生物多様性保全などに効果の高い営農活動に対して補助を行います。

#### ■補助額

- (1) 堆肥の施用 3,600 円 / 10 a
- (2) 緑肥の施用 5,000 円 / 10 a

### 拡 有害鳥獣駆除事業

4,456 千円（拡充分 550 千円）

ドローンに搭載したスピーカーから猛禽類（フクロウ・鷹）の鳴き声などを発することでカラスを追い払い、農作物被害の軽減を図ります。

#### ■実施回数 10 回（予定）



### 事業用脱炭素促進設備導入費補助事業

103,289 千円

CO<sub>2</sub> 排出量の削減を図るため、省エネルギー診断により削減効果が見込まれる設備を導入する事業者に対して補助を行います。

#### ■対象設備

- (1) エネルギー効率の向上またはエネルギー転換により CO<sub>2</sub> 排出量の削減に寄与する設備
- (2) 太陽光発電設備などの再生可能エネルギー発電設備

#### ■補助率 2 分の 1

#### ■補助額 上限 1,000 万円

### 拡 有害ごみ処理事業

17,162 千円（拡充分 426 千円）

火災事故の原因となるモバイルバッテリーや充電式小型家電などを、5 月から新たに清掃センターや各市民センターでも回収します。

### 産業イノベーション推進事業

24,396 千円

既存産業の強化や新たな産業の創出を図るため、人材育成やオープンイノベーション推進に関する多様なプログラムを実施します。

- 人材・次世代育成支援事業の実施
- コワーキングスペースの運営
- 企業のイノベーション推進の支援



未来創造たまご塾の開催風景

### スタートアップ連携促進事業

11,601 千円

市内中小企業の事業成長を図るため、革新的なアイデアや技術を有するスタートアップ企業との連携を促進するためのプログラムやイベントなどを実施するとともに、STATION Ai に入居するスタートアップ企業との個別相談などを行います。

### チャレンジショップ事業

10,234 千円

市内で創業または店舗出店を検討する人のために、産業振興センター内に令和 7 年 12 月にオープンしたチャレンジショップについて、運営及び追加整備をします。

- 整備 設備及び機器の追加など
- 運営

- (1) 出店者の募集及び選定
- (2) 出店者への伴走支援
- (3) セミナーやイベントの開催
- (4) 施設の P R 活動



チャレンジショップの風景

～支え合い誰もが安心して暮らせるまちづくり～

**拡 母子健康診査等事業**

202,251 千円 (拡充分 5,939 千円)

こどもの特性を早期に発見し、こどもとその保護者を発達の特徴に合わせた適切な支援につなげるため、令和9年度から新たに開始予定の5歳児健康診査の実施に向けた準備をします。

- 健康かるてシステム改修
- 5歳児健康診査検討委員会の開催

**拡 予防接種事業 (母子)**

588,735 千円 (拡充分 42,110 千円)

新生児や乳児のRSウイルス感染症を予防するため、新たに予防接種法のA類疾病定期接種の対象となったRSウイルス母子免疫ワクチン予防接種を実施します。

- 対象者 妊娠28週から37週に至る妊婦
- 接種回数 1回
- 自己負担額 無料



**拡 予防接種事業 (高齢者)**

347,233 千円 (拡充分 39,956 千円)

高齢者の疾病の発症及び重症化を予防するため、国の方針に基づき、定期予防接種の使用ワクチンを効果の高いものへ変更します。

- 高齢者肺炎球菌予防接種
  - (1) 対象者 65歳の人
  - (2) 自己負担額 3,500円※
- 高齢者インフルエンザ予防接種 (現行ワクチン選択可)
  - (1) 対象者 75歳以上の人
  - (2) 自己負担額 2,000円※

※住民税非課税世帯または生活保護世帯などは無料

**拡 脳ドック事業**

24,029 千円 (拡充分 2,093 千円)

脳血管疾患などの脳に関する病気の早期発見・早期治療及び重症化予防を図るため、脳ドックの定員枠を年間1,000人から1,100人へ拡大します。

- 対象者 市内在住の40歳以上の人  
(刈谷市脳ドック未受診者に限る)
- 実施場所 市内指定医療機関 (4箇所)
- 自己負担額 10,000円

**拡 こどもの生活・学習支援事業**

8,875 千円 (拡充分 800 千円)

こどもの進学に向けたチャレンジを後押しするため、経済的課題を抱えるひとり親家庭及び低所得子育て世帯に対して、新たに高校受験料の補助を行います。

- 対象世帯 児童扶養手当受給水準のひとり親世帯  
または住民税非課税世帯
- 補助額 上限22,200円



**拡 子育て世帯訪問支援事業**

2,072 千円 (拡充分 847 千円)

自立した生活が難しいと認められる子育て家庭や妊産婦、ヤングケアラーなどがいる家庭のうち、刈谷市こども家庭センターがサポートプランを作成する中で事業の利用が必要と認めた家庭に対し、既に実施している家事支援に加えて育児支援などを実施します。

- 拡充する支援内容
  - (1) 育児の支援 (食事、着替え及び入浴)
  - (2) 保育所などの送迎
  - (3) 児童の見守り
  - (4) 外出時の補助

**児童発達支援センター移転整備事業**

626,000 千円

児童発達支援センター (しげはら園) に通所するこどもの療育環境の改善及び地域の園などに通う発達が気になるこどもとその家族に対する支援の充実を図るため、さくら保育園北園舎跡地へ移転整備します。

- 継続費 令和7～8年度
- 総額 678,000 千円
- 事業箇所 若松町
- 構造規模 鉄筋コンクリート造2階建て  
延床面積 1,258㎡



完成イメージ

子育て支援及び保健・福祉サービスの維持・向上を図るとともに、災害や感染症、交通事故、犯罪などに対する安全性を高めることにより、みんなで支え合いながら、多様性が尊重され、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

## 新 高齢者物価高騰対応生活支援事業

387,671 千円（令和7年度からの繰越明許費）

食料品などの物価高騰による影響を受けている高齢者の生活を支援するため、スーパーなど幅広い店舗で使用できるギフトカードを配付します。

### ■対象者

市内在住の65歳以上の高齢者（令和8年4月1日時点で本市の住民基本台帳に登録のある、昭和36年4月1日以前に生まれた方）

■配付内容 1人当たり10,000円のギフトカード

■配付時期 5月

■使用期限 9月末まで

## 拡 タクシー助成事業

97,892 千円（拡充分3,780千円）

福祉タクシー、高齢者タクシー及び介護タクシーの利用者負担の軽減を図り、障害者及び高齢者の外出支援を促進するため、タクシーの料金助成の上限額を7月から引き上げます。

### ■福祉タクシー助成事業

総事業費 64,593 千円  
（拡充分 1,263 千円）

### ■高齢者タクシー助成事業

総事業費 33,299 千円  
（拡充分 2,517 千円）



## 新 終活あんしんサポート事業

146 千円

身寄りのない高齢者などの将来に対する不安を軽減し、安心して過ごせるように支援するため、終活あんしんセンターを社会福祉協議会に設置します。

■終活に関する相談窓口

■専門機関などの情報提供

■絆ノート（エンディングノート）の個別指導

## 拡 生活機能特化型 リハビリテーション事業

11,612 千円（拡充分8,192千円）

要支援認定者または事業対象者が、セルフマネジメント力を身に付け、介護保険サービスに頼らない生活を送ることを目的として、リハビリテーション専門職による面談や自宅でできるトレーニングの指導を中心としたモデル事業を拡充します。

■実施場所 7事業所（予定）

■利用者 80人（予定）

## 市民生活支援事業

171,130 千円

物価高騰対策として市民や事業者を支援するため、4月から料金改定する水道料金について、基本料金の上昇分を6か月間減免します。

■減免対象 4月から9月までの使用分

## 新 犯罪被害者等支援事業

735 千円

犯罪などにより被害を受けた者及びその家族または遺族の権利利益の保護、受けた被害の回復または軽減及び生活の再建を図るため、支援金支給、日常生活支援などを行います。

### ■支援金支給

(1) 遺族支援金 300 千円

(2) 重症病支援金 100 千円

(3) 精神療養支援金 25 千円

### ■日常生活支援

(1) ホームヘルプサービス

(2) 配食サービス

■犯罪被害者などの支援に関する職員研修



犯罪被害者等支援  
シンボルマーク  
ギョッとちゃん

## 青山斎園大規模改造事業

213,059 千円

施設の保全及び利用環境の改善を図るため、霊堂の改修を行います。

■外壁及び内装の改修工事

■電気設備の改修工事

■空調設備及び換気設備などの改修工事



## 水防倉庫整備事業

17,183 千円

水防力の向上を図るため、老朽化した水防倉庫の建て替えを行います。

■事業箇所 三田町

■水防倉庫整備工事（高津波）

### 拡 感震ブレーカー設置費補助事業

1,100 千円 (拡充分 100 千円)

大規模地震時における電気火災を抑制するため、感震ブレーカーの補助対象機器について、従来の分電盤タイプに加え新たに簡易タイプを対象とします。

- 補助率 2分の1
- 補助額 上限 2,000 円

### 拡 わが家の地震対策事業

73,224 千円 (拡充分 11,625 千円)

木造住宅などの地震対策を推進するとともに、労務費や物価上昇による工事費高騰に対応するため、補助内容を拡充します。

- 木造住宅無料耐震診断の対象拡大  
平成 12 年以前に着工された新耐震基準の住宅(条件有)
- 精密診断法を用いた耐震補強設計への補助制度創設
  - (1) 補助率 3分の2
  - (2) 補助額 上限 200,000 円
- 木造住宅撤去費補助金の増額
  - (1) 補助率 23%
  - (2) 補助額 上限 250,000 円
- ブロック塀等撤去費補助金の増額
  - (1) 補助率 2分の1 (通学路等沿道は 4分の3)
  - (2) 補助額 上限 150,000 円 (通学路等沿道上限なし)

### 新 災害対応通信環境整備事業

1,281 千円

大規模災害時に、救護・救出活動のための通信や災害情報の収集などを可能とするため、低軌道衛星を利用し、災害時においても平時と変わらないインターネットサービスを提供できるスターリンクを試験導入します。



### 避難所マンホールトイレ整備事業

35,580 千円

災害発生時のトイレ不足を解消するとともに、衛生的なトイレ環境を確保するため、マンホールトイレを整備します。

- 整備工事  
住吉小学校、富士松東小学校、刈谷高等学校  
※令和 8 年度で整備計画完了



## ～持続的なまちの発展を支える行財政運営～

新たな技術の活用など時代の変化に応じた行財政運営に取り組むとともに、戦略的な情報の発信・収集や多様な主体との協力・連携を推進し、持続的に発展する豊かで魅力あるまちの実現に向けた仕組みづくりを進めます。

### 新 公共施設屋外照明等 LED 化事業

1,250 千円

環境負荷及び維持管理経費の軽減を図るため、公共施設の屋外照明機器などについて、リースによる LED 化を行います。

- 対象施設 青山斎園始め 117 施設
- リース期間 10 年

### 拡 戸籍住民基本台帳システム管理事業

94,815 千円 (拡充分 11,015 千円)

窓口の混雑を軽減し、来庁者の利便性を向上させるため、マイナンバーカードを利用し、セルフサービスで各証明書を取得することができる、キオスク端末を本庁舎 1 階に設置します (10 月稼働予定)。

- 取得できる証明書  
住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍の附票の写し

### 新 粗大ごみ収集受付管理システム導入事業

7,300 千円

粗大ごみ戸別収集サービスを利用する市民の利便性向上及び事務の効率化を図るため、粗大ごみ収集受付管理システムを導入します (7 月稼働予定)。

- 新たに導入する機能
  - (1) 24 時間オンライン予約受付
  - (2) オンライン決済
  - (3) 収集ルート自動作成

### 新 公共施設予約案内システム更新事業

56,277 千円

施設利用者の利便性を向上させるとともに、施設管理の効率化を図るため、公共施設予約案内システムを更新します (1 月更新予定)。

- 新たに導入する機能
  - (1) キャッシュレス決済
  - (2) オンラインでの利用者登録

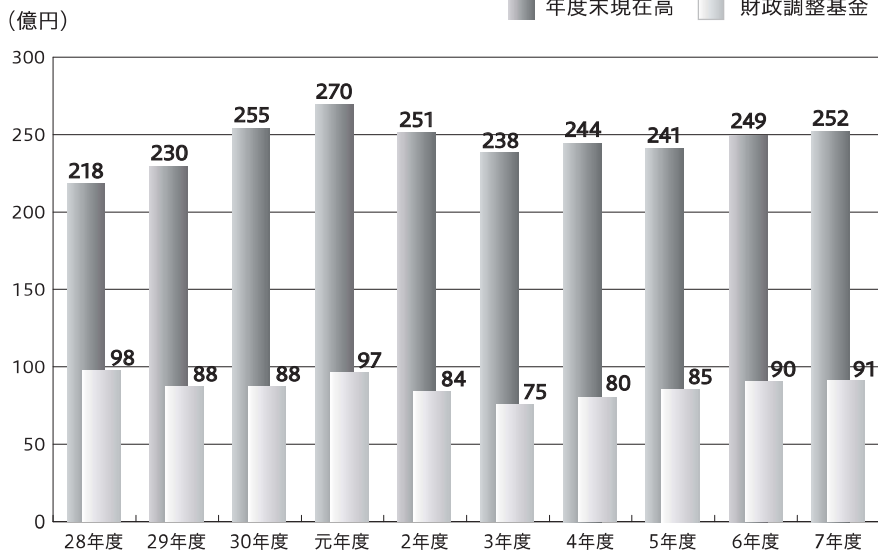


# 基金の状況

基金の現在高は、令和7年度末現在で、約252億2,900万円です。その内訳は、財政調整基金（約91億3,700万円）、公共施設維持保全基金（約58億9,000万円）、都市交通施設整備基金（約56億4,400万円）、亀城公園等整備基金（約17億1,300万円）が主なものです。

(単位：百万円)

## 基金現在高の推移

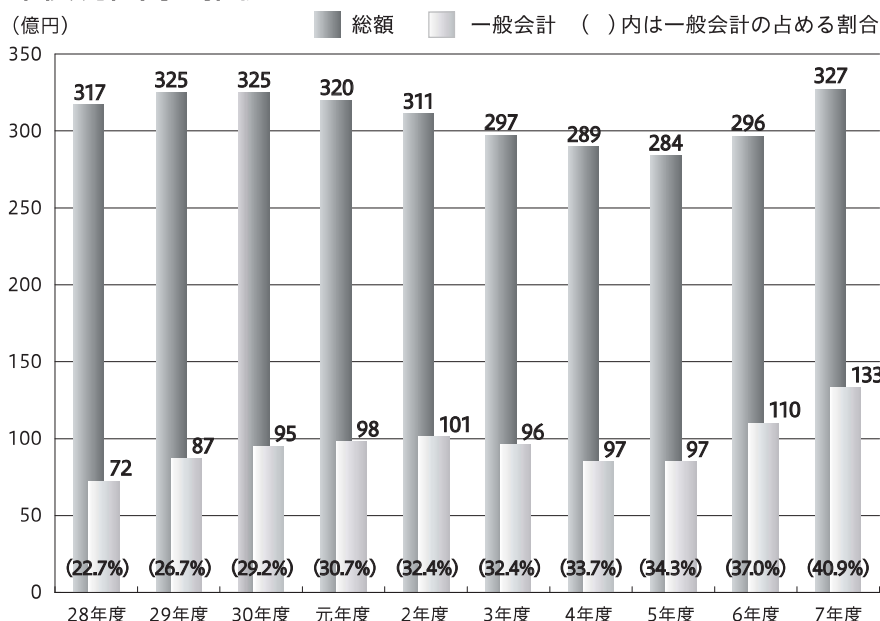


基金名	現在高
財政調整基金	9,137
国際交流振興基金	226
美術品等購入基金	603
地域福祉基金	141
一般廃棄物処理施設等整備基金	200
介護保険基金	255
緑化推進基金	321
市民活動支援基金	10
亀城公園等整備基金	1,713
公共施設維持保全基金	5,890
一般旅券収入印紙購入基金	10
都市交通施設整備基金	5,644
産業立地促進基金	533
加藤与五郎顕彰科学教育振興基金	38
魅力あふれる公園づくり基金	508
合計	25,229

# 市債の状況

市債の現在高は、令和7年度末現在（見込み）で、約326億5,600万円です。そのうち、一般会計は、約133億5,000万円で40.9%を占めています。企業会計では、下水道整備の進展により下水道事業会計が大きな割合を占めています。

## 市債現在高の推移

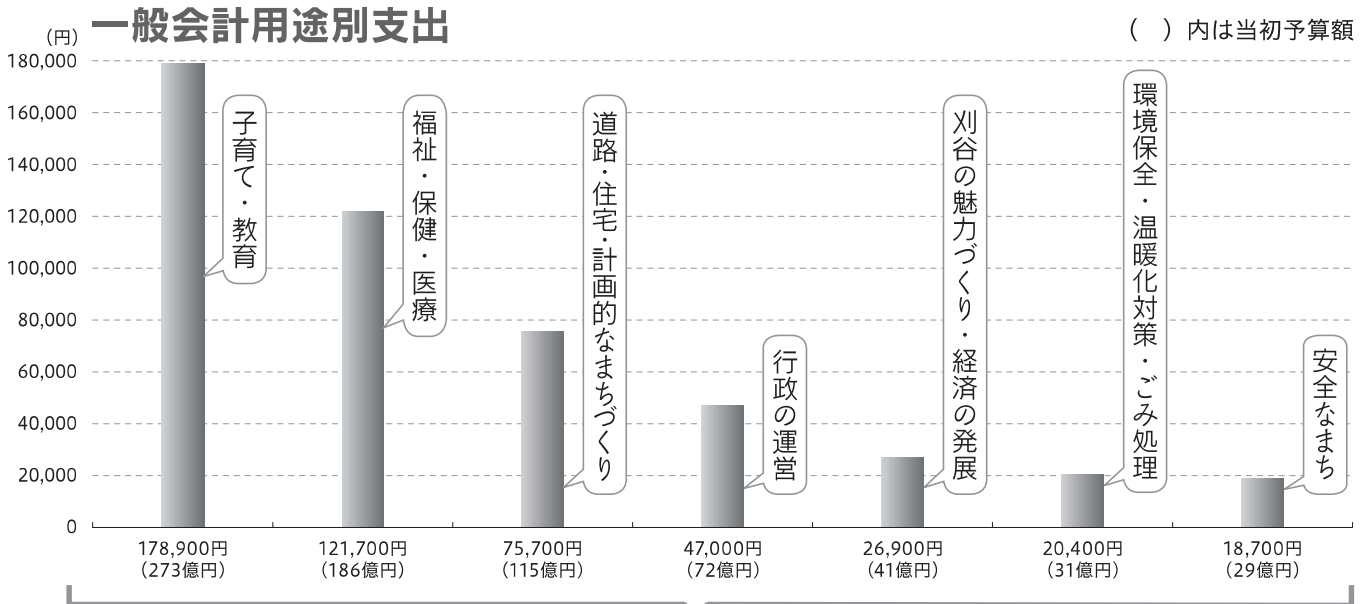


(単位：百万円)

会計名	現在高
一般会計	13,350
企業会計	19,306
水道事業会計	4,786
下水道事業会計	14,520
合計	32,656

# 市民1人当たりの予算額（用途別）

刈谷市の令和8年度予算総額746億6,300万円を、市民1人当たり（令和8年4月1日現在の人口152,606人）に換算すると489,300円となります。これは、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな目的の用途に使用されています。用途の中で最も多いものが、子育て・教育分野で178,900円、次に福祉・保健・医療分野に121,700円、そして、道路・住宅・計画的なまちづくり分野に75,700円の順となっています。なお、金額は端数を調整しています。

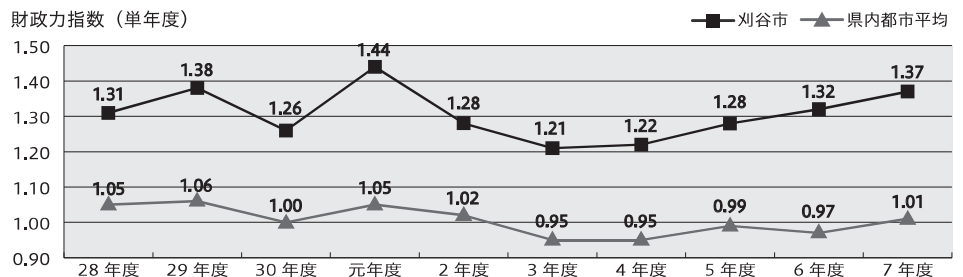


市民1人当たりに使われる予算額 **489,300**円 一般会計予算額 746億6,300万円

## 主な財政指標の推移

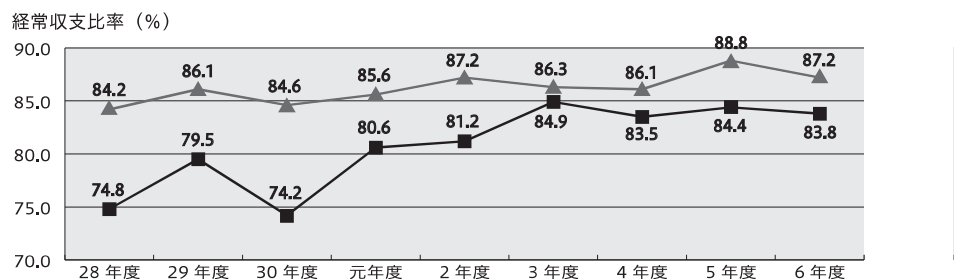
### (1) 財政力指数

地方公共団体の財政上の能力を示す指数で、1を超えるほど財政に余裕があります。



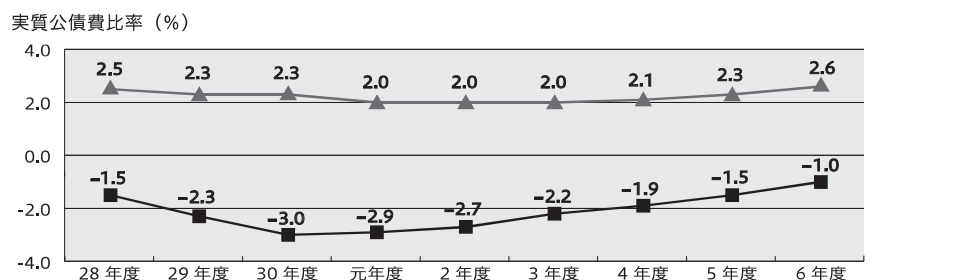
### (2) 経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾性を測る指標で、人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に市税などの一般財源がどの程度充てられているかをみるもので、この比率が増加すると財政運営は硬直化します。

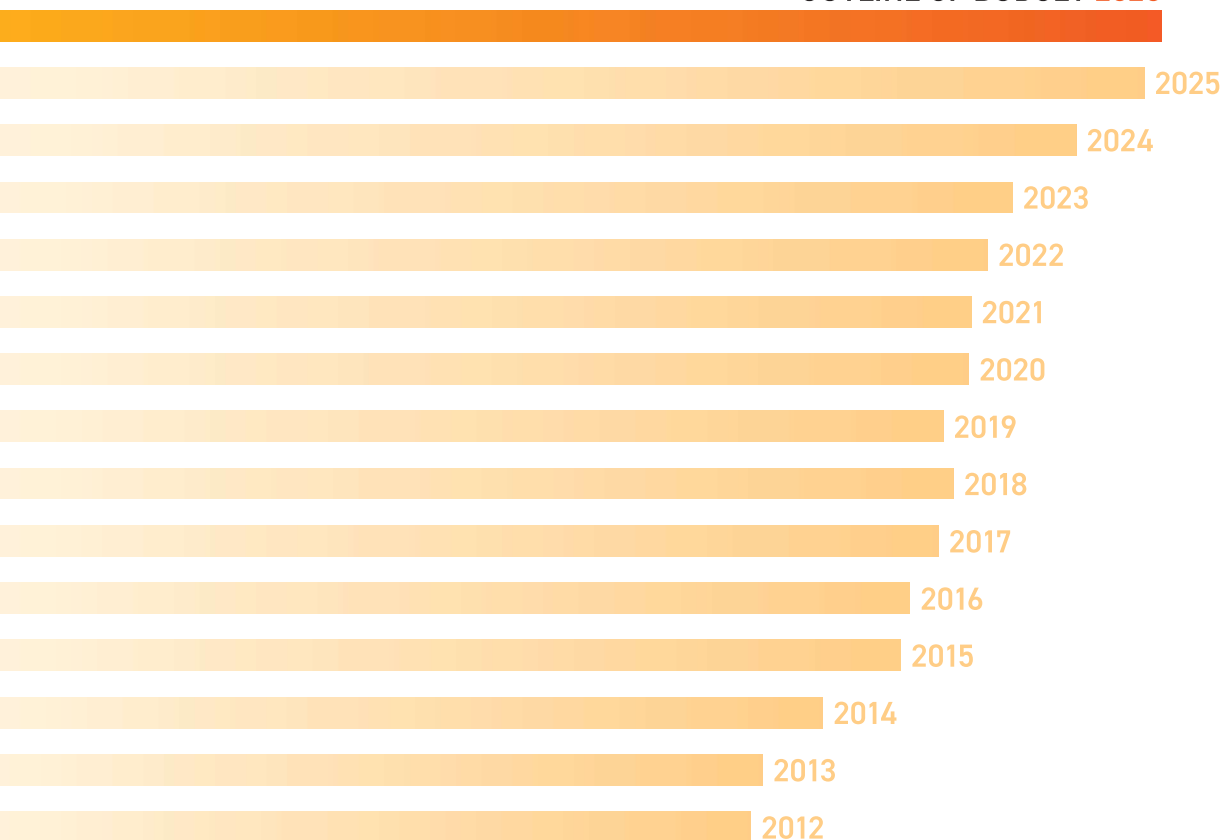


### (3) 実質公債費比率

一般会計や特別会計、企業会計の公債費に広域連合や一部事務組合における公債費を加えた実質的な公債費が、財政に及ぼす負担割合を直近の決算年度を含めた3カ年平均で表した指標で、この比率が低いほど財政が健全であるといえます。



## OUTLINE OF BUDGET 2026



○この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。  
○この印刷物はAランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。